



一般に日本のホスピス（緩和ケア）は、がんやエイズの末期にある人を対象としていますが、ホームホスピスは、がんに限らず、あらゆる病いや障がいをもって生きる困難に直面している人とその家族がケアの対象です。一軒の家（民家）に5～6人程度がともに暮らし、その住人を介護スタッフや地域の医療連携チームが支えるのがホームホスピスです。一人暮らしで家族の居ない人も、ともに暮らし合う関係を築いていきます。そして、痛みやそのほかの身体的なケアだけでなく、生活者として人生の幕を閉じるまで、住まいを中心に医療、介護、生活支援が一体となったケアの体制を構築します。

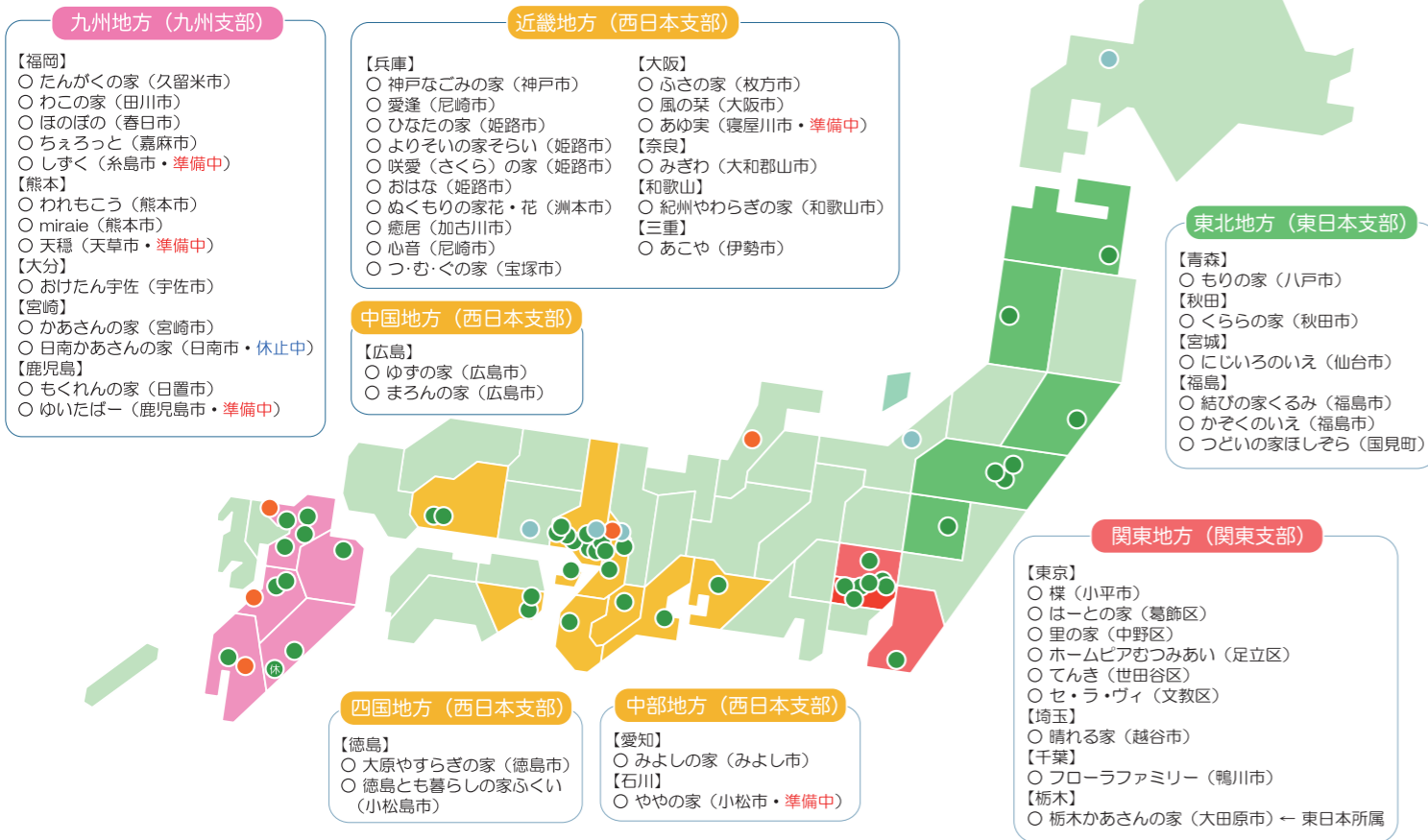
全国ホームホスピス協会によるサポート

● 開設のサポート	● 運営のサポート	※ 研修の種類
① ホームホスピスの学校 ② 法人がない場合、設立のサポート ③ 運営体制に関するアドバイス ④ 物件選びと改修のアドバイス ⑤ 行政への申請などに関するアドバイス ⑥ 助成金の申請のサポート	① 料金設定に関するアドバイス ② 労務管理に関するアドバイス ③ 組織管理に関するアドバイス ④ 認定に向けてのレビュー ⑤ 各種研修(*)の実施	・実践者育成塾 ・スキルアップ研修 ・全国合同研修会 ・支部研修会

全国のホームホスピスマップ

2022年1月31日現在

- 運営中のホームホスピス（協会正会員）
- 開設準備中のホームホスピス（協会準会員）
- 準備中の研修修了者
- ホームホスピス®がない都道府県



ホームホスピス®を始めた人  
ホームホスピス®を学びたい人

のための

ホームホスピスの学校

2022年6月(第3期)・10月(第4期)

お申し込みは、「全国ホームホスピス協会」ホームページから

<https://homeospice-jp.org>



A ホームホスピス「つくる」コース

● ホームホスピス®を開設したい人が受講する研修プログラム

理念やケアの哲学および運営や管理についての座学（オンライン講座）と1ヶ月程度の現場実習（ホームホスピスの現場で実際のケアに携わる）で構成されます。修了後は、協会のサポートを受けながら、ホームホスピスの開設を目指します。

B ホームホスピス「まなぶ」コース

● ホームホスピス®の理念やケア・看取りの哲学を学びたい人が受講する研修プログラム

理念やケアの哲学についての座学と数日間の現場実習（ホームホスピスの現場で実際のケアを体験する）で構成されます。修了後は、学びを活かし、各地・各分野で活躍していただきます。



ホームホスピス®は、全国ホームホスピス協会の登録商標(区分：第44類)です。

お問い合わせ先  
 全国ホームホスピス協会 事務局  
 〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6  
 電話：0985-65-8087 FAX：0985-53-6054  
 Mail：info@homeospice-jp.org HP：https://homeospice-jp.org

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

# 研修「ホームホスピスの学校」の概要 (HHはホームホスピスの略)

## 1 ▶ 研修の対象者

### A HHつくるコース

原則として、運営責任者（若しくは事務責任者）と現場のケアリーダーになる方を含むチーム（原則3名以内）で受講していただきます。ケアリーダーは実際のケアに従事するため、看護師または介護士の資格を持っていることが条件となります。（ケアリーダーの年齢は、原則65歳以下とします。）

### B HHまなぶコース

◎ 専門コース  
ホームホスピスの理念に共感し、現在従事している仕事に活かしたいと考えている方（看護師、介護士、その他の医療福祉業務の従事者）。

◎ 一般コース  
現在、関連の仕事には従事していない、または専門資格を有していないが、ホームホスピスの理念に共感し、学びたいと考えている方。

## 2 ▶ 研修プログラム

### A HHつくるコース

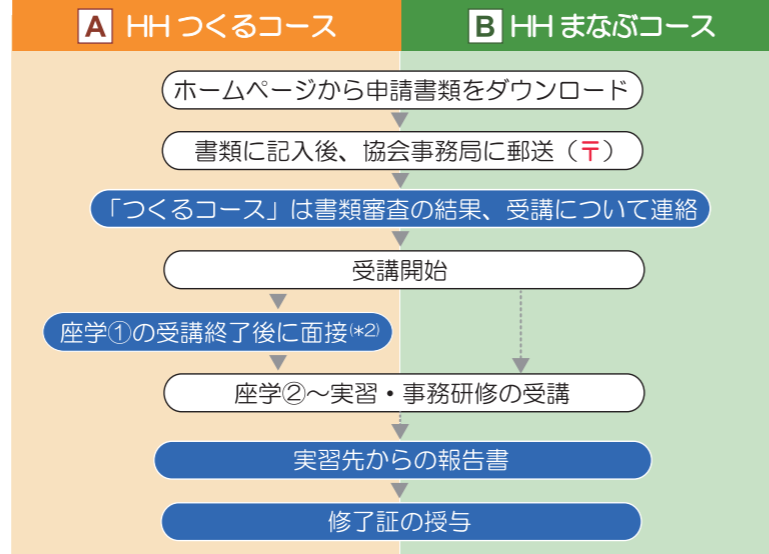
種別	分類	科目	期間・時間*1)
座学①	理念とケア	ホームホスピスの基本	2時間
		ケアの哲学	2時間
		ホームホスピスの環境	1.5時間
		ホームホスピスのケア1	1.5時間
		ホームホスピスのケア2	1.5時間
座学②	運営	開かれた運営	1.5時間
		地域づくりへの関わり	1.5時間
		安全管理（ケア）	1.5時間
		安全管理（防災）	1.5時間
		持続可能な運営（労務管理）	1.5時間
		持続可能な運営（組織運営）	1.5時間
実習①		住まいであること とも暮らしという暮らし方 日々の個別ケア 看取りのあり方 開かれた運営（実習） 地域づくりへの関わり（実習） スタッフの人材育成（実習） 安全管理（実習）	20日間以上 [4]*3)を参照
事務研修		物件選定・労務管理・料金設定・契約・法人設立など (協会事務局が担当)	半日程度

### B HHまなぶコース

種別	分類	科目	期間・時間*1)
座学①	理念とケア	ホームホスピスの基本	2時間
		ケアの哲学	2時間
		ホームホスピスの環境	1.5時間
		ホームホスピスのケア1	1.5時間
		ホームホスピスのケア2	1.5時間
実習②		日々の個別ケア 看取りのあり方	原則3日間

\*1) 科目の期間・時間については、内容により変更になる場合があります。

## 3 ▶ お申込み・審査



\*2) 面接の結果によっては、次の課程に進めない場合もあります。

## 4 ▶ 研修の形態

### 各コース共通

座学は、基本的に Zoom と Google Classroom を利用したオンライン講座です。実習は、実際に指定研修先のホームホスピスの現場に入って体験していただきます。研修先は、現在全国に14ヶ所ある認定ホームホスピスとなります（今後増える予定）。座学は科目ごとに、また実習は毎日、レポート（日報）を書いていただきます。また、研修期間中に、オンラインミーティングなどにより、研修生同士の交流を図る機会も設けます。

### A HHつくるコース

ケアリーダーは、「座学①」及び「実習①\*3)」の受講が必須。運営責任者（若しくは事務責任者）は、「座学①」「座学②」及び「事務研修」の受講が必須となります。座学については、複数名（3名以内）での受講も可能です。実習先については、ご希望により、個別相談の上決定します。また、受講生は、研修中または修了後1年以内に開催される、会員向け研修会「ホームホスピス実践者育成塾」（受講料は別途）にも必須研修として参加していただけます。

\*3) 実習①については、基本的に20日間以上の研修とします。連続（法定休日を除く）した20日間の研修ができない場合は、必ず連続した5日間の研修を2回含むスケジュールで実施します。それ以外の10日間については、状況及び事情に応じた組合せを可能とします。また、必要に応じてPCR検査などを受けていただけます。

### B HHまなぶコース

専門コースの受講者は、「座学①」及び「実習②」の受講が必須となります。「実習②」は、原則3日間\*4)です。実習先については、ご希望により、個別相談の上決定します。一般コースの受講者は、「座学①」の受講が必須となります。

\*4) 基本的な構成として、1日目は、午前中にオリエンテーション、午後から実習。2日目は、終日実習。3日目は、午前中に実習、午後は反省会。また、必要に応じてPCR検査などを受けていただけます。

# 研修料について

### A HHつくるコース

座学① + 座学② + 実習①（20日間の場合）= 180,000円

### B HHまなぶコース

座学① + 実習②（3日間の場合）= 38,000円（専門コース）  
座学① = 20,000円（一般コース）

※ HHつくるコースは、この他に直近で開催される「ホームホスピス実践者育成塾」への参加（原則、運営者、ケアリーダー各1名）が必須（4[研修の形態]参照）が必須となりますが、上記の料金にその参加費は含まれません。

## ホームホスピス実践者育成塾について

ホームホスピスの「理念の共有」と「ケアの向上」を目指して、実施している研修会です。育成塾の対象者は、「ホームホスピスの学校」を受講中の方、ホームホスピスの運営者、管理者、スタッフ、また、ホームホスピスに関心があり、近い将来に開設したいと考えている方です。内容は、ケアの実際と環境、医療連携や新しいケア技術などを学びます。2022年の育成塾は、会場とオンラインによるハイブリッド形式で、7月に2日間の開催の予定ですが、開催場所など詳細につきましては、後日ホームページ等でご案内いたします。参加費については、プログラムの内容により異なりますが、およそ1日当たり6,000円程度になります。



育成塾ワークショップの様子（2018）

## 研修スケジュール(予定)

基本的に年間で2回の開校を計画しています。  
※ 表中の実習の期間は、目安です。それぞれ事情等を考慮して個別に設定します。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
		M: ミーティング					
A HHつくるコース		B HHまなぶコース		A HHつくるコース		B HHまなぶコース	
座学①	座学②	事務研修	座学①	座学②	事務研修	座学①	座学②
毎週2講座(1.5~2h)を3週		座学②は毎週1~2講座(1.5h)を3~4週	毎週2講座(1.5~2h)を3週		座学②は毎週1~2講座(1.5h)を3~4週	毎週2講座(1.5~2h)を3週	
開校式		実習①(つくるコース)	報告書	開校式	実習①(つくるコース)	報告書	開校式
		20日以上	修了			20日以上	修了
座学①		実習②	報告書	座学①	実習②	報告書	座学①
(一般コース) 3日程度		(専門コース)	修了	(一般コース) 3日程度		(専門コース)	修了

## 修了後の活動について

### A HHつくるコース

全国ホームホスピス協会の賛助会員として、協会のサポートを受けながらホームホスピス開設に向けて準備を行っていただけます。

#### 【特記事項】

- 原則、修了後3年以内にホームホスピスを開設(※)する。
- ホームホスピス開設後は、正会員として登録していただく。
- 育成塾は会員料金で参加可能、また2022年度の全国大会は参加費無料。

(※) ホームホスピス®は、建物を含めた環境もホームホスピス®の基準を満たしている必要があります。そのような拠点整備のアドバイスも行います。

### B HHまなぶコース

HHサポーター（賛助会員）として、介護や看護の現場でホームホスピスの理念（マインド）を持って活躍していただくと同時に、在宅看取りの普及にもその学びを生かしていただけます。

#### 【特記事項】

- 育成塾は会員料金で参加可能、また2022年度の全国大会は参加費無料。
- 修了後は、賛助会員として登録していただく。

## 研修者の声

兵庫県神戸市  
看護師 小林 絵美さん

[第1期「つくるコース」修了生]



これまで様々な方の最期の時間に関わらせていただく中で、ご自宅での最期を希望していても病状や介護力などの理由から願いが叶わない事も少なくなく、ホームホスピスを開設したいと思い、ホームホスピスの学校「つくるコース」を受講いたしました。座学では基本理念や歴史だけではなく、居心地が良いと感じる環境作りや経営についても学ぶ事ができました。実習では入居者の方々、ご家族、スタッフが1人の人として尊重され、大切にされており、最期まで役割を持って生きながら、自然な経過で死を迎える事ができる場所であると感じました。家のどこにいても時々聞こえる話し声や笑い声、生活の音や匂いに気配を感じ、私自身もとても癒された充実した4週間でした。住み慣れた地域で、その人らしく安心して生活できる環境を提供し、入居者様、ご家族、地域住人の方々にごあって良かったと思って頂けるホームホスピスを目指してまいります。